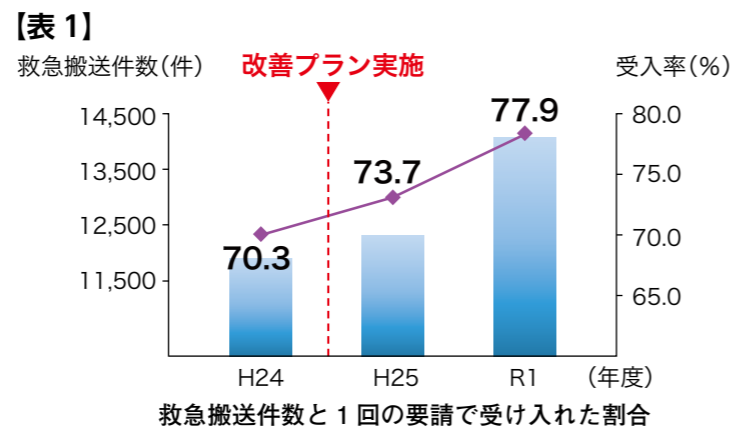
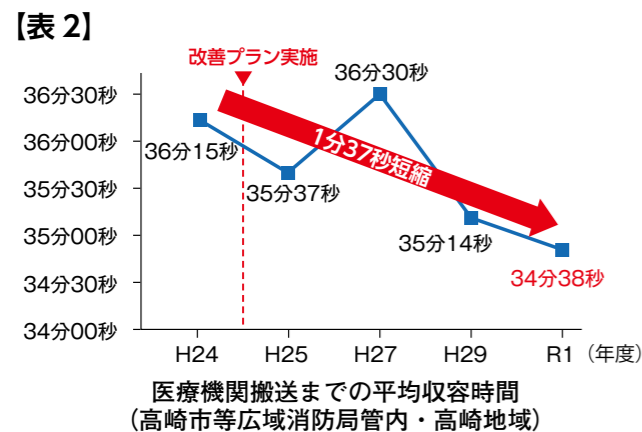




タブレット端末で受け入れ可否を確認し、医療機関へ要請



救急搬送時間の短縮 脱「たらい回し」へ

「1秒でも早く——」。救急医療に携わる人たちの合言葉です。救急医療の課題の一つに、救急患者を搬送したいのに受け入れ先の医療機関が見つからない、いわゆる「たらい回し」があります。市は、一分一秒を争う救急医療の現場での「たらい回し」「ゼロ」を目指し、平成25年度から救急医療体制の改善プランに取り組んでいます。

この結果、搬送先の医療機関が1回の要請で決まる、たらい回しのない受け入れが、令和元年度では77・9%でした。改善プラン実施前の平成24年度の70・3%と比べると、約8%向上しています（表1参照）。

救急車が要請を受けてから患者を医療機関に搬送するまでの平均収容時間は、昨年度34分38秒でした（表2参照）。平成24年度の36分15秒から1分37秒短縮。平成30年度の全国平均39分30秒と比べても、4分以上早いことがわかります。

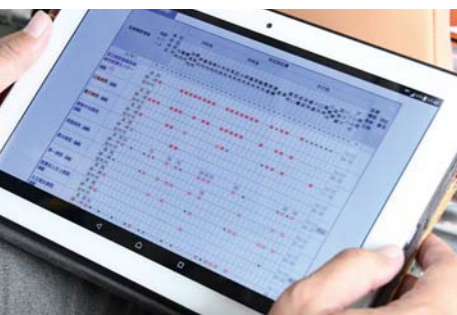
救急車の出動要請が増え続けている中、市が取り組んで

いる改善プランの成果が着実に表れた結果だといえます。

安心につながる医療体制強化

救急隊は、市内の主要病院とのネットワークにより、受け入れの可否をタブレット端末で確認でき、搬送先の医療機関を選定。市は、1日2回以上、受け入れの可否情報を更新した場合に医療機関に補助しています。夜間・休日の救急搬送患者の受け入れや、脳卒中・心疾患の患者の受け入れ体制づくり、救命医が現場に向くドクターカーの運行などに対しても支援。また、消防局に救急課を新設した他、北消防署の救急隊を2隊に増やし、出動体制を強化しました。

改善プランは、今後も経過を検証し、安心につながる医療体制の充実を進めていく予定です。



受け入れ情報が一覧で分かる

救いたたい命がある



現場へ出動する救急隊



119番通報を受信し、救急車・消防車への出動を指令



救急車へ患者を搬入

救急医療の最前線

救急搬送時間短縮



改善プランの成果

救急患者のたらい回し「ゼロ」を目指す改善プラン

市は、市民が安心して生活できるよう救急医療体制を整備するため、平成25年度から救急患者の受け入れ促進や適切な医療機関への搬送などの「救急医療体制緊急改善プラン」に取り組んでいます。

今回号では、改善プランの取り組みとその成果についてお知らせします。問い合わせは、保健医療総務課（☎381-6111）へ。